

テーマ：公共交通機関を増やそう！

上田染谷丘高等学校 1年 武藤百音

テーマ設定の理由

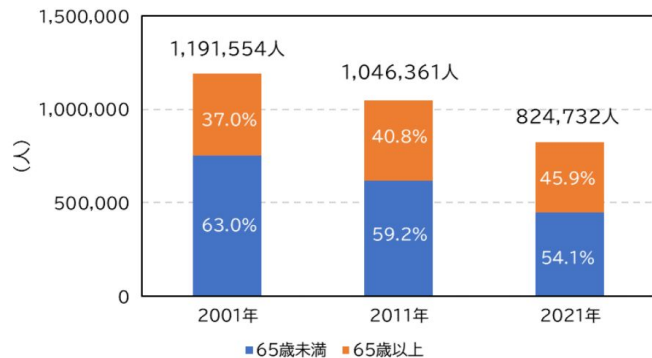
理由1: 地球温暖化の原因とされる温室効果ガスである二酸化炭素が自動車の排出ガスに多く含まれているから。

理由2: 自動車を持っていない人にも遠くに行くことができる公共交通機関が増えたら便利になると思ったから。

現状

- ・バスの利用者が減少している
- ・バスは一時間に一台
- ・休日にバスが停まってしまうところもあり不便！

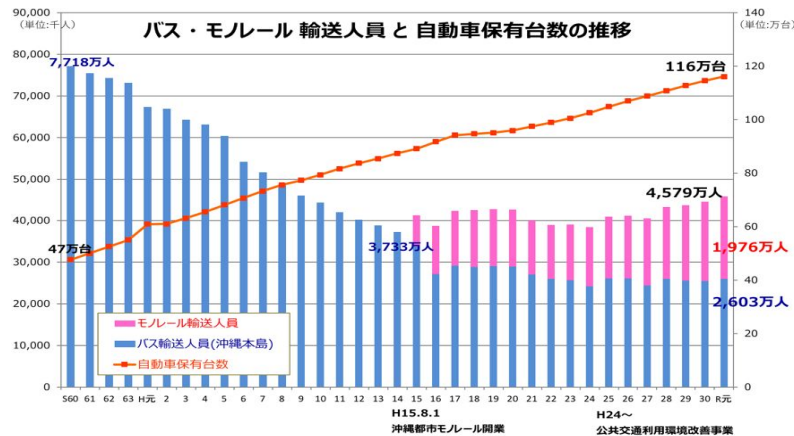
課題・問題点



大型二種免許保有者数とその65歳以上の割合の推移 (運転免許統計より作成)

- ➡ 運転手の高齢化が進み運転手不足
- ➡ 若い人の減少

長時間労働、低賃金
早朝、深夜、土休日の勤務あり
人の命を預かるため責任も重い

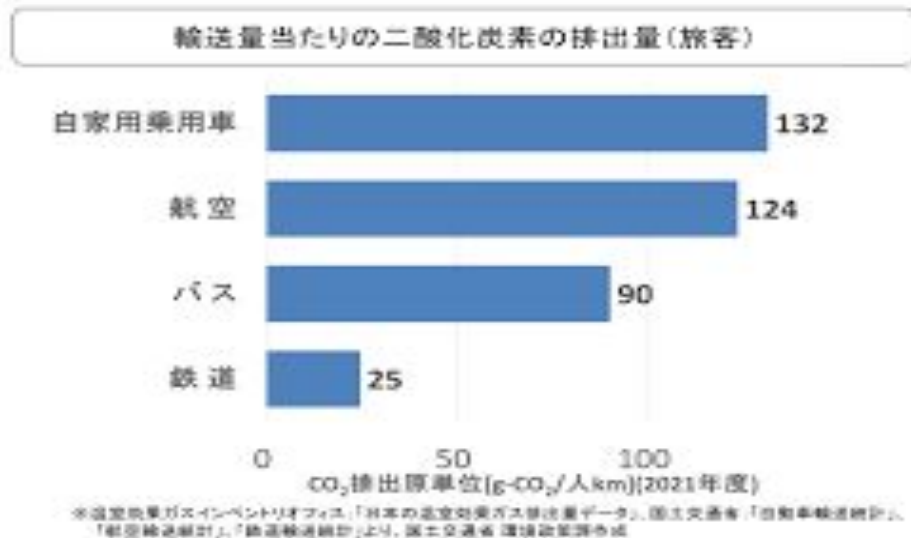


自動車の普及とともにバスの利用者減

バス路線が減便されたり、廃止される

乗りたくてもバスが少なく不便
自動車はいつでも行けて便利
よってバスの利用者減

理由1の資料



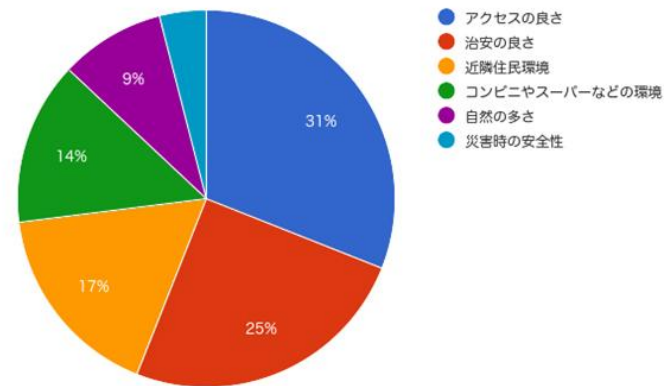
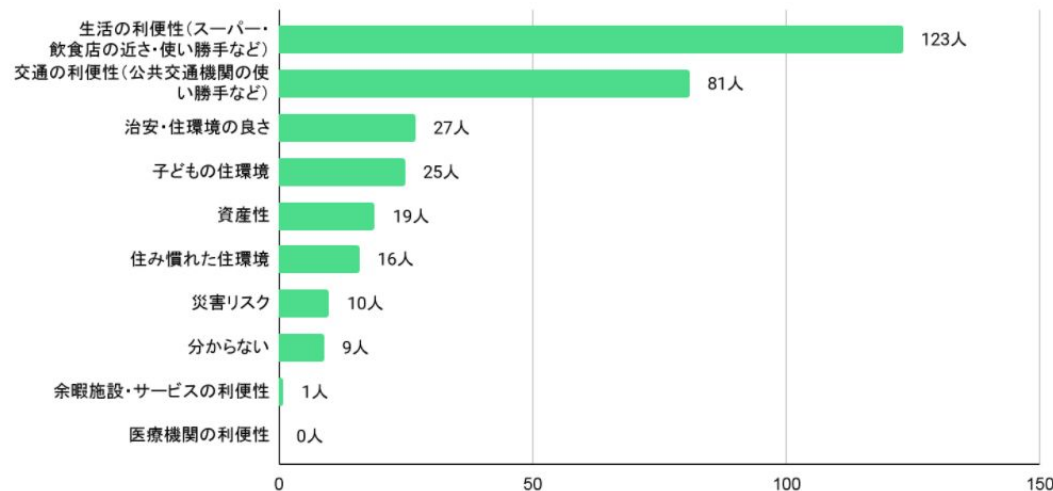
左上の図ではバスを使ったときのほうが自動車を使ったときより約3分の2の二酸化炭素が削減できることがわかる。

バスや鉄道など公共交通機関は自動車より二酸化炭素の排出量が少ない。

理由2の資料

住む場所を決めるときに重視されるポイント

マンション購入を考える際に最も重視するポイント



アルファあなぶきStyle「【住宅購入について】住まいの場所についてのアンケート」より（2021年4月23日～2021年5月19日実施）

上のグラフから交通の利便性は私達の暮らしにとっても大切だということがわかる。

提案

提案1

バスの運転手の人の賃金を高くする。早朝、深夜、土休日に運転するドライバーの時給を高くする。

➡これにより若者の就職率があげ、ドライバーの人数を増やす。

提案2

バスの台数を増やす。

➡バスの台数を増やすことで、気楽にバスに乗れる環境を作る。

提案3

バスに乗ることが二酸化炭素削減につながるということを幅広く共有し、公共交通機関を利用することが地球温暖化対策につながることを意識してもらえるイベントなどを企画する。

➡ドライバーの人たちに働きがいを持ってもらえるように、バスの利用者を増やす

提案4

バスなどに乗るごとにポイントがついていくアプリやカードを作る。

➡バスに乗ることで利益が生まれるシステムを作り、バスへの興味をもたせる。

まとめ・感想

私達が通学・通勤をするのに重要な公共交通機関は、地球温暖化対策にも貢献しています。

ぜひ出かける際には公共交通機関を選択肢に入れ、利用してほしいです！

引用元・参考文献

国土交通省

公共交通トリセツ

PRTimes

アルファジャーナル

わった～バス党

大東建託